

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

1. 今後の見通し

予測期間: 2003年11月下旬から12月上旬までの旬別

対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業: さんま棒受網漁業

対象魚群: 南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量: 10月下旬は高水準ながら低下傾向となり、11月上旬には中位水準となる。11月中旬は低位水準へと減少し、11月下旬には魚群が逸散して断続的となる。

(2) 漁場: 10月下旬以降は襟裳岬南沖が主漁場となる。11月下旬以降は散発的となり、12月上旬には消滅する。

2) 三陸海域

(1) 来遊量: 10月下旬は中位水準で経過する。11月上旬には一時低下するが、11月中旬には再び増加する。11月下旬には低位にまで減少し、12月上旬に断続的となる。

(2) 漁場: 10月下旬以降は南偏傾向となり、11月下旬以降は南部主体となる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量: 10月下旬に増加傾向となりピークに達する。11月上旬には中位水準を維持するが、11月中旬には低下傾向となり、11月下旬以降は平年並みの水準で推移する。

(2) 漁場: 10月下旬には、常磐南部～犬吠周辺で形成される。10月下旬～12月上旬は鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬
道東海域	来遊量					
	動向	高位低下	中位水準	中位低下	断続的	
	漁 場	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	
三陸海域	来遊量					
	動向	中位横這	中位減少	中位増加	中位減少	断続的
	漁 場	南偏傾向	南偏傾向	南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向	増加傾向	中位横這	中位減少	低位水準	低位水準
	漁 場	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3. 漁況の経過概要

(10月上旬)

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期より若干低下したが、前年の3倍弱を維持した。1989年以降過去14年間と比較して高位の水準となった。また日別CPUEの推移から判断すると、前旬と同じく期半ばに来遊量が多くなり、その後やや減少した模様。
- (2) 漁場: 漁場は、落石南東沖～霧多布南沖と、釧路南東沖～襟裳岬南東沖および黒崎～宮古のはるか沖合に分かれた。落石～霧多布南40海里付近では、小型船の漁場となった。漁場水温は9～13台が主体。期半ば以降、薄くて小さい群れが多く、灯付きは並み～不良であった。厚岸大黒島南65海里～釧路南100海里では、大型船、小型船とも漁場となり、今期の主漁場であった。漁獲水温は11～13台であった。期後半に黒崎～宮古東90～100海里で大型船の漁場形成があり、三陸海域への魚群の南下が確認された。水温は13～17。
- (3) 魚体: 魚体は大3 - 中5 - 小2～3 - 4 - 3が主体。体長30cmと26cm主体。期末には小型魚主体の漁もみられた。